

## 最終交流会のお誘い

### \*種を蒔く\*咲かせる\*アレンジする\*

『花を3倍楽しむ』をテーマに、花々の色々な姿や変化を楽しみ、取り込むコツを学ぶ、レクチャーです。一例として、飾り方のワークショップも行います。ぜひ、同じマンションのお友達とお誘い合わせの上、ご参加ください。

- 開催日時：2月22日（土） 13:30～15:00
- 開催場所：江東区文化センター 6階第2会議室
- 講師：近藤かおり（豊洲ぐるりパークガーデンアドバイザー）
- お申し込み：特定非営利活動法人「江東区の水辺に親しむ会」  
TEL 03 (5639) 2818



### 交流会トピック

### — みどりの持つ不思議な力 — 「冬こそ花と緑で、暮らしに彩りを」

12月8日、CIGのキャンペーンとして、東大島の船番所資料館で寄せ植え教室を開催しました。区報での募集に多くの応募があり、20名の方が参加しました。当日初めて顔を合わせた皆さんは最初静かに座っていらっしゃいましたが、植付け講習会が始まるとお互いに語らって、楽しい雰囲気に変わりました。これも花とみどりの力でしょう。

皆さんのマンションでも、下記の様にベランダ緑化講習会を開催なさいませんか。



### マンションベランダ緑化 モニター募集

江東区では、みどりの中の都市 CIG (CITY IN THE GREEN) 事業を進めています。ぜひお友達を誘って一緒に楽しむ仲間を増やし、みどりの中の都市(CIG)を広げる活動にご協力ください。

交流会、モニターへの申込みの他、植物を育てていて疑問に感じたこと、種のまき方…、わからないことなどありましたら、下記問い合わせ先にお気軽にご連絡ください。

- 発行・問い合わせ先：特定非営利活動法人江東区の水辺に親しむ会  
住所 〒135-0021 東京都江東区白河1-3-13-106  
電話 03 (5639) 2818 FAX 03 (5639) 2822 E-mail mizube@talo-city.co.jp

※本事業は、江東区より業務委託を受け、江東区の水辺に親しむ会が実施しています。



ニュースレター

# News Letter

2025  
January



完成した寄せ植え。▶

## 江東区CIG推進キャンペーン 『旧中川水彩マルシェ』(11月17日開催)に 参加しました。

区内各地域で開催してきたCIG (CITY IN THE GREEN) キャンペーン。今回は江東区東部地域にある、旧中川水彩パークで開催しているマルシェに参加し「寄せ植え講習会」とフレンドシップグリーンの宣伝を通して、CIGをアピールしました。

### \*まずは関心を高める花苗の説明

講師はガーデナーの丸山美夏先生です。最初にパンジーと原種に近いビオラの違いから説明をしました。合わせて植えるミニスイセンとミニチュアリップも丈夫な原種に近いものを丸山先生に選んでいただきました。普段あまり花屋の店先で見かけない種類の球根の話は、参加した皆さんの興味を引いていました。

### \*大切に育ててくれる人になって欲しい

大人だけでなく、小さなお子さんも興味を持って多く参加して下さいました。「こうした体験が、大きくなって植物に親しむ事につながって欲しい」と参加したモニターさんや他の皆さんも話していました。



▲「パンジーの間から球根が芽を出します」と、成長が目に見えようように話す講師。



▲大人の手元を見つめる子供たち。

### \*来年の春が楽しみ

この日は、地域の方々がパークガーデニングクラブの方々と、園内の花壇にチュウリップを植付けました。寄せ植えも花壇も、来春が楽しみです。



▲来春を思い描きながらの植付け。



▲2024.04.06の風景。



# —第2回交流会のテーマは— マンション敷地の植生管理とその仕組みを知る

●東砂三丁目ハイツ

これまで何回かニュースレターにご登場いただいた「東砂三丁目ハイツ」。築後40年を超え、日常の管理に神経を払いつつ、育った豊かな緑をコントロールしてきた事が、マンション内にピクチャレスクな風景を生み出して来ています。

どのような敷地の管理を行ってきたのか、その仕組みは、などを他のモニターマンションの方にも参考になるのではないかと、CIGキャンペーンの一環として10月13日(日)に交流会を兼ねたマンション内の見学会と意見交換会を開催しました。



風景の1つ1つに感心。▶



## ◆ ガーデンクラブから 管理組合との連携へ

**ステップ1** 最初は寄せ植え教室を開催、ガーデンクラブという同好会を立ち上げて、管理組合の許可を得て敷地の空いたスペースに花を植えることから始めました。



▲それぞれ割り当てられた箇所を受け持つ担当者の工夫が。

**ステップ2** その内、活動がマンション内で注目されるようになり、他の居住者の方からもあちこちの空いたスペースに花を植えて欲しいという希望の箇所が増えて、対応する様になりました。

**ステップ3** その内に管理組合から、“可能な範囲での” 植栽に関する手入れの依頼も来るようになりました。

**ステップ4** 当初費用は有志によるカンパでまかなっていたのですが、必要な費用は管理組合で予算計上されるようになりました。



▲住棟配置。

こうして敷地を管理する管理組合との連携が整いました。大西ガーデンクラブ会長によると、当初 **ステップ1**～**4**まで戦略を立てて始めたものではなかったとの事だそうです。次々と持ち上がる課題を管理組合と相談しながら解決してきたことが、今の活動を維持する原点となったとの事でした。

▶ 高木の根元も植栽に変化を。



## ◆ 参加者の感想

- それぞれの人の個性を感じながら植物を通してまとまっている。
- 居心地の良い居場所があり、初めてお邪魔をした私たちにも心地良い居場所がある。
- しっかりと育っている植物からも時間と歴史の心地良さを感じさせる。
- 現実的にも広いミーティングルームの有るマンションで、うらやましいの一言に尽きる見学会だった。
- 我々も地固めから一歩一歩、先への歩みを進めたい。
- マンションの経年変化により、価値が減少するかもしれないが、成長するみどりが価値を高めている。

▲ガーデンの緑でもてなしを演出。(スズメウリのツル)



▲12月はガーデンを、クリスマスイルミネーションで飾る自治会のお手伝い。